



国際ロータリー
第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

御殿場
ロータリークラブ

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2777回 例会プログラム

- 例会場 / プラサヴェルデ
- 開会点鐘 / 13:00
- ロータリーソング / 我らの生業
- 内容 / Intercity Meeting

会員慶事

- 夫人誕生日
2月16日 込山正一郎君 ご夫人 晴子様
2月23日 勝又重春君 ご夫人 佳代子様
- 結婚記念日
2月16日 大胡田明寿君 幸子様 ご夫妻
2月23日 柏原大地君 桃子様 ご夫妻
- 会員誕生日
2月18日 高村繁男君
2月23日 山口幸男君
2月26日 稲葉博之君

会長挨拶

澁谷 一



本日の卓話は、勝又正美御殿場市長をお迎えしての卓話になります。これからの御殿場市がどのようになっていくかをお聴きしたいと思います。今期が始まった昨年7月に御殿場市と小山町に行き、首長と教育長へ表敬訪問を行った際に、卓話を頂くことをご了承いただき本日に至りました。

今月のロータリー月間は「平和構築と紛争予防月間」になります。今年は日露戦争から120年、太平洋戦争終結から80年、現在は停戦にはまだ遠いウクライナ紛争、停戦はしたが宗教的に永遠の課題が残るイスラエル・ガザ地区の紛争や日本周辺の東アジア地域でも、いつ起こっても不思議でない紛争の種が多くなってきました。アメリカでは、1月21日に2度目のトランプ政権が誕生し、自国第一主義の元、大統領令を毎日提出し、カナダ、メキシコとの貿易摩擦、中南米の国々との不法入国、犯罪や薬物の問題が各メディアで報道される日常になってきました。

今月のロータリーの友で、映像ディレクターの渡辺 孝(こう)氏の記事を読みました。2024年

2月18日に第2710地区グループ3のIMの講演内容で、太平洋戦争の中で存在したジャーナリストに関する話です。現状と違う原稿を書くことやウソの放送を流すことで、大変本人も苦しんだが、その反対でそれをしないで亡くなっていった名も無き人も多くいたそうです。最近では、体制にノーと言いつつ、獄中で亡くなった政治活動家のロシアのアレクセイ・イワリヌイさんがその一人です。

渡辺氏はメディアの一員として、紛争の際の初期消火が責務と言っています。最後に自分の言葉を賢く、守る、貫くという存在でありたいと語っています。詳しくは、本をお読みいただきたいと思います。

御殿場クラブとしての2月の残り2回の例会は移動例会となり、ここYMCA東山荘に戻れるのは1ヵ月後になります。2月16日は沼津ヴェルデでIM、2月27日は、富士スピードウェイにて職業奉仕委員会の移動例会になります。

今週始めに節分、立春と過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。お体には気をつけてお過ごしください。



会長挨拶はこちら



2/6の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	52名	49名	94.23%	100%

欠席者(3名) 梶 喜朗君 柏原大地君 勝又 淳君
※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

1/23のメーキャップ

10月20日	フードバンク	長谷川雅也君
10月20日	フードバンク	大胡田明寿君
1月22日	北海道Eクラブ	田代明人君
1月23日	東京ピースウィング	豊山徹也君
2月5日	北海道Eクラブ	菅沼良将君
2月5日	北海道Eクラブ	高橋隆造君



THE MAGIC OF ROTARY
ロータリーのマジック

次回
2月27日の
例会

★富士スピードウェイ
★12:30
★企業訪問

これからのまちづくり



御殿場市長
勝又正美様



今年は巳年で、「復活と再生」の年とも呼ばれ、行政的にも縁起の良い年です。私もヘビのように変化に対し柔軟に対応していきたいと考えています。

年が明けて1カ月余りですが、色々なニュースがありました。その中でも箱根駅伝で、御殿場市出身の吉田響さんが花の2区で日本人最高記録を樹立したことは非常に明るい話題となりました。

先日、記者会見にて、昨年1年を漢字一文字で表すなら、という質問があり、私がこれしかないと答えたのが「祝」です。御殿場市として市制施行70周年を迎えたことでもあります。昨年は多くの目標が達成された年でした。観光交流客数は1500万人を超え、宿泊客数も110万人を突破しました。他にも、「全国住みよさランキング」で70位（県内断トツの1位）、デジタル地域通貨「富士山Gコイン」の登録者数は、目標5万人をわずか1年2カ月で達成（市民の6割相当）、さらに、「Jクレジットの第1号が創成されたりと、お祝い続きの1年であったと振り返っています。

私がいつも講演で必ず話すことがあります。それは今、持続可能な「共生社会の実現」が求められているということと、合わせて、感謝の気持ちを忘れないでほしいということをお伝えしています。今はなんでも簡単に手に入ってしまう、初めて何かを手にした、口にしたときの感動が薄れています。人生は上り坂と下り坂を繰り返していくものです。いざ病気やケガをしたときに誰もが必ず思うのは「元に戻りたい」ということです。だからこそ、当たり前前の日常に感謝する気持ちを持ってほしいと思います。

最近になってようやくコロナ禍以前の生活が戻ってきましたが、私はコロナ禍真っ只中で市長に就任しました。コロナ禍の最大の弊害は「経済の停滞」と「コミュニケーションの遮断」でした。御殿場市でも、景気が低迷し、その改善策として打ち出したのが「富士

山Gコイン」の利活用でした。市内飲食店を中心に、地元経済の活性化に大いに効果を上げたものと自負しています。また、コミュニケーションという点では、マスクをつけ、言葉を発することすら臆するような時期でした。この環境が続いては子供たちの成長を阻害してしまうと考え、市内の各区長に対して、少しずつ元のように地域活動を行ってほしいとお願いしました。とりわけ、御殿場夏祭り歩行者天国を開催できたことは、学校だけでは教えられない様々な学びを子供たちに提供できたとともに、ひと夏の良き思い出になったことと思います。

一方で、コロナ禍を経たおかげで良かったこともあります。リモートが進み、人手不足の問題がより重要視されるようになったことです。日本の人口は1年で約60万人減少しており、今後10年では1000万人減少すると試算されています。これからは、人口を減らすことを防ぐことはできないことを認めた上で、どのレベルで維持していけるかを考える必要があります。社員数の3割カットを前提とした営業方針を真剣に考える企業も出てきています。キーワードは、高品質なものを高単価で売ること、DXで経営改善やレガシーシステムからの脱却を図るということです。これは人手不足を埋めていく上でも不可欠です。また、採用の時点でいかにレベルの高い人材を確保できるかも重要になっていくでしょう。

最後に、まちづくりのビジョンについてお話しします。私は御殿場市の力を活かしたまちづくりを目指しており、その上で一番大事なことは、施策に「ストーリー性」を持たせるとのことだと考えています。富士山の恵み、交通の利便性、既存の集客力など、御殿場ならではの強みを活かしていかなければなりません。令和8年には「新図書館・資料館」に加え、「富士山のおもちゃ美術館」がオープンします。更に、「道の駅的施設」といった地域の交流拠点となり、産業・経済を潤す施設を今後新たに設けることで、御殿場市の企業が利益を上げることを目指していきます。キーワードは「デジタル」と「ブランド力をつけて高く販売すること」です。そうしたまちづくりのためにも皆さんから色々な意見をいただきたいと考えています。また是非そういった場面もいただけると幸いです。



司会 込山正一郎君 ソングリーダー 菅沼良将君 出席報告 田代明人君 会員誕生日 勝又英和君

2/6のスマイル

この2月より娘が伊勢原で、ついに一人暮らしを始めます。しばらくは立ち直れないと思いますので何かありましたら幹事予定者 勝又厚君にお願いします。豊山 篤君

